

with コロナ 学校の新しい取り組み

福岡市教育委員会

新型コロナウイルス感染症は、国内外の感染状況をみると、いまだ収束しておらず、私たちはこれから長期間、この感染症に、気をつけながら生きていくことになります。

そのような中、全員登校から一ヶ月が過ぎ、学校生活も軌道にのりはじめた一方で、児童生徒たちには、疲れやストレスがみられるという声も聞かれます。

福岡市教育委員会では、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、児童生徒の命・健康・安全を第一に考えながら、新たな取り組みを実施してまいります。

今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

教育相談体制の充実

- ・ 小学校のスクールカウンセラーの配置日数を増やし、こころのケアの充実を図ります。
- ・ 担任の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が連携して、児童生徒に寄り添います。
- ・ 「福岡市こども SNS 相談 2020」を夏季休業期間（平日）も行います。

登録はこちらから



こども SNS 相談

長期欠席児童生徒等への学習支援(オンライン授業)

実施までの流れ

- 1 一人ひとりのニーズに応じた学習支援について、ご家庭と学校で話し合いをします。
- 2 学習支援の一つとして、オンライン授業を希望される場合は、実施方法や教科、時間割などについて協議し、実施します。
- 3 定期的な面談などを通して、学習支援の状況について、ご家庭と共有します。

九州大学病院グローバル感染症センターによるサポート開始

各学校が、九州大学病院グローバル感染症センターに相談することができるようになりました。

(相談内容例)

- ・ ソーシャルディスタンスや手洗い、マスク、消毒など、日頃の感染症対策について
- ・ 学校で感染者が発生した場合の休校や学校再開に向けた感染防止対策について

- ・ 免疫力を高めるために、「十分な睡眠」「適度な運動」「バランスの取れた食事」に心がけてください。



- ・ 児童生徒には、感染症対策として、基本的には常時マスクを着用させていますが、暑さで息苦しいと感じた時などは、マスクを外したりするなど、自分の判断で適切に対応するように指導しております。

